

滝頭小学校マニフェスト（中期学校運営計画）

計画期間

平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標

- 子ども一人ひとりが、問題意識を持ち、自ら進んで追求し、自分らしさを発揮できることを大切にします。
- 子どもが自他の違いを認め、高め合いともに生きることを大切にします。
- 子ども自身がよりよい考え方を生かし、ルールをつくりながら活動することを大切にします。

学校経営方針

- 学校教育目標を実現するため、活力と魅力にあふれた学校づくりをめざします。
 - ・児童の興味・関心に応じた問題解決的な学習の充実をはかります。
 - ・様々な情報を発信し、「外に開かれた学校」として、家庭や保護者と連携し、信頼される学校づくりを進めます。
 - ・教職員が相互に啓発・連携し、「内にも開かれた学校」として、活気にあふれた学校運営組織の確立をはかります。

指導の重点

- ・児童が意欲をもって主体的に取り組むための授業の工夫に努めます。
- ・少人数指導やチームティーチング、学習ルームでの指導など、個に応じた指導を推進します。
- ・子どもの生き方や生活の視点に立ち、問題解決的な学習を通して、特色ある・魅力ある教育活動の展開に努めます。
- ・人との関わりを大切にした人権・福祉教育を推進します。

改善の視点

取組目標

1 何をもって学力とするかの議論は様々ですが、学習意欲を高めることは急務であり、主体的に学ぶ児童の育成のためにも授業の改善を図る必要があります。

- ◎ 教師の魅力ある授業づくりのため、教材研究や授業の準備のための時間が勤務時間内に確保できるよう組織の改編や日課の見直しを図ります。
 - ・学年研究会を週2日にし、学年内で授業について情報を交換したり、教材教具の準備や作成に充てたりする時間を確保します。
 - ・平成19年度より、全教師が横浜市授業改善支援センターを活用し、授業力を高めていきます。
 - ・全児童の家庭学習の習慣化に取り組み、学年に応じて時間を増やすよう家庭との連携を図ります。

2 生きる喜びを実感し、正義感・公正さ・自律・規範意識の育成に向けた教育の充実が必要となっています。

- ◎ 自ら進んで学校や地域、保護者、自然・文化とふれあうことを通して、他の人のものの見方・考え方・感じ方を理解し合い、互いに認め合うことで豊かな心の育成を図ります。
 - ・道徳授業の充実に向け、学年で指導方法を研究し、全てのクラスで年に1回授業を公開し、保護者とも連携していきます。
 - ・人との関わりを大切にした人権・福祉教育を推進し、互いの存在を認め、尊重し合う子どもの育成に努めます。併せて、あいさつの飛び交う滝小づくりに取り組み、自分から進んであいさつする子どもを平成22年度100%を目指します。

3 基本的な生活習慣の確立や体力の向上が課題となっています。家庭と連携しながら基本的な生活習慣の確立や体力の向上を図っていく必要があります。

- ◎ 早寝・早起き・朝ご飯・歯みがき・外で元気よく遊ぶなど、基本的な生活習慣の確立と体力の向上に努めます。
 - ・中休みや昼休み、また、休日にも大いに外で遊ぶことを奨励し、これまでのたてわりグループによる遊びも継続していきます。
 - ・早寝・早起き・朝ご飯・歯みがきを家庭との連携も図りながら、平成22年度100%を目指します。

4 安全で安心な学校・地域になるよう学校・家庭・地域が互いに連携し合うことが必要です。

- ◎ 集団登校を継続すると共に、児童が一人で下校することのないよう下校時刻に合わせた児童の一齐下校を徹底します。
 - ・保護者・地域の方の通学路での見守り活動ボランティアが、平成18年度49名である。買い物や散歩時の見守りボランティアは77名であり、今後毎年増やし、平成22年度には各100名を目指し、PRに努めます。

<p>人材育成の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内重点研究をさらに充実していくと共に、学年内及びベテラン職員と若手職員との略案による授業公開を通じて、互いに指導力の向上に取り組みます。 ・個々の教育的ニーズを把握し、生活や学習上のつまずきを改善することは、今、大きな課題である。教師の見取り・支援力の更なる向上を目指し、療育センターや養護教育総合センター、横浜国立大学などの関係機関との連携を図りながら、校内研修を充実していきます。 ・複雑化する児童指導に対応するため、児童理解のための時間の確保と特別支援教育との連携をはかりながら、児童指導担当教諭の計画的な育成を進めます。
<p>平成20年度の重点取組項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 昨年に引き続き「意欲をもって主体的に学ぶ子どもの育成」という研究テーマを設定し、国語科を中心に研究に取り組むとともに、家庭と連携し家庭学習の習慣化に努めます。 ◎ 「総合的な学習の時間」や「道徳の授業」の充実をめざし、単元開発や指導法の研究に努め、授業参観でも保護者に公開しています。 ◎ 早寝・早起き・朝ご飯・歯磨きなどの基本的な生活習慣の確立と体力の向上をめあてに、粘り強く指導及び支援を継続しています。 ◎ 危険の予見・対応・再発防止をめざし、家庭と連携しながら、児童一人一人の危険回避能力を高めるための安全教育を充実しています。
<p>これまでの取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 相手意識や目的意識などのめあての明確化、問題解決にいたる見通しある学習計画、発問や板書の工夫など、教師の支援のあり方や魅力ある授業づくりの研究を継続しています。家庭学習の習慣化に向け、その一つである宿題も計画的に進めています。 ◎ 身近な事柄への気づきから探求型・追求型の学習場面が見られ、体験したことを後輩に伝えるなどの活動を展開しています。道徳では、自分の言動を振り返るとともに、効果的な資料を活用し、規範意識や人権感覚などの育成に努めています。 ◎ 養護教諭や栄養職員と保護者が互いに連携し合い、バランスのとれた食事や朝食の大切さなど、学校保健委員会の場を通して、全校児童の実態とその改善に向けて取り組んでいます。 ◎ 子どもの防犯力（危険回避能力）の育成に向け、子どもに対する大人の関わり方を家庭と連携しています。また、インターネットや携帯電話を媒体としたいたずらやいじめなどにつながっていないかなどの実態調査を実施するとともに、各家庭での取り決めを紹介し合ったり、各教室での指導に取り組んだりしています。
<p>教育懇話会の意見</p>	<p>■ 滝頭小学校マニフェストを策定するにあたり、平成20年11月29日に「まちとともに歩む学校づくり懇話会」に意見をいただきました。主な意見は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での出来事を家庭で話題にしたとき、保護者がフォローすることで子どもにより成果をもたらすことが多いので心掛けていきたい。 ・トイレを見ればその家庭の方針が分かると言われる。トイレ掃除も就学前から親の姿を見せて、家庭でも手伝わせることが大切と思う。 ・トイレ清掃を「公共心」に結び付けるのはどうだろうか。簡単に、自分たちが使った所をきれいにする、当たり前なことと捉える。 ・子どもは親の姿を見て育つ。公道であっても、玄関先や家の前を掃いたりする姿を見せていきたい。 ・道徳の授業では、やっていいこと、悪いこと、やらなければならないことなど指導してほしい。週1時間では足りないような気がする。 ・自分の子どもだけという姿勢で行動するのではなく、人に迷惑をかけないを最低基準として、思いやりやボランティア精神を育成していきたい。 ・年間一回の土曜参観で、保護者の気持ちが分からないでもないが、写真撮影や私語が多いと感じた。 ・全員が黒板の方を向くのではなく、コの字にしたりグループ学習にしたり、座席の工夫が見られた。これからも意欲や集中力を高める工夫をしてほしい。 ・外国語活動に期待したい。

※1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト（中期学校運営計画）」として策定したものです。

※2 ◎は重点項目